

あたらしくはいった こどもの本

秋田市立図書館ホームページURL

[https://www.city.akita.lg.jp/](https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/index.html)



[kurashi/shakai-shogai/](https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/index.html)

[1008469/index.html](https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/index.html)

おしらせ

新しい紙芝居が入りました！（寄贈：あきぎん七代会）

- 紙芝居（→カウンターで貸し出します。）
『きよろきよろり』LaZoo／作・絵 教育画劇
『うみのいきもの なーんだ？』佐々木一澄／作・絵 教育画劇
「いっしょにまなぼう！<きけん>にそなえる紙芝居」 童心社
（全6巻 内容：交通安全、大雨、停電、熱中症、感染症）
- 中型紙芝居（→団体向けに、事務室で貸し出します。）
『ハロウィンのかぼちゃ』ますいさちみ／作 スズキコージ／絵 童心社

今月のテーマ展示

- 絵本 『学校・幼稚園・保育園』
- 読み物・ノンフィクション 『新生活応援』

※1階児童コーナーで
ご覧ください。



えほん



たいこどんどん
三浦太郎／作
ブロンズ新社
（Eミ）※2歳から

たいこたいこ、たたいてみよう、どんどん。びっぴーと
ランペットがやってきて、どんどん・びっぴー。ぴーひゃ
ら、ぴーひゃら、ふえも加わって、どんどん・びっぴー・
ぴーひゃらぴーひゃら…。まだまだつづく。ページをめ
くるたびに、どんどん音が連なっていきます。



つめたいこおり
どんなかたち？
細島雅代／写真
伊地知英信／構成・文 岩崎書店
（Eホ）※3歳から

こおりと言えばどんなものを思い浮かべますか。四角い
こおり、水たまりのこおり、それともかきこおり？他に
も、しもばしら、あられなど、こおりのいろいろな姿を
写真で見られる科学絵本です。みんなはどれくらい見た
ことあるかな？



あかきみどりの
げんきべんとう
ゴトウノリュキ／絵
川端輝江／監修 少年写真新聞社
（Eゴ）※4歳から

今日も大人気のげんきべんとうやさん。「どうして元気が
でるのかな」おきゃくさんのそんな一言に、あかの食べ
ものが「元気のひみつ それはあか」と踊り出します。
それを聞いたきいろの食べ物、みどりの食べ物も自
分こそが元気のひみつだと言いました。



クマダさんのどんぐりコーヒー
はやしすみ／作
アリス館
（Eハ）※5歳から

家にこもりきりのクマダさんがコーヒーをいれて飲んで
いると、いいかおりにさそわれておとなりのハチダさん
がやってきました。どうやらクマダさんのうちをコー
ヒーやだとかんちがいているようです。しかたなくク
マダさんはコーヒーをいれてあげることにしました。

低学年向き



ぼくはクルルをまもりたい
なりゆきわかこ／文
いりやまさとし／絵
ポプラ社
(91ナ)

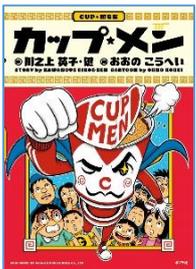
しょうたの家の近くにアライグマが出た。見た目はかわいいけど、らんぼうできけんらしい。ある日、しょうたは、神社で「クルル…」ってなく、かなしい目をしたアライグマを見つけた。だれにも見つからないようにこっそり食べものをあげていただけけど、お母さんに見つかってしまって…。



こんなおうちにすみたいな
和室はすてき
武田美穂／作 片山和俊／監修
ほるぷ出版
(52)

けんたは、パパのひっこす町にやって来ました。犬のバウを追いかけていたら、ふたりの女の子が、「あんたのいぬならこのおうち！」と案内してくれました。おじいちゃんの家似ているおうちで、女の子たちといっしょに、たみでごろんとしたり、えんがわで庭をながめたり。だんだん和室の楽しさを発見していきます。

中学年向き



カップ★メン 1
川之上英子・健／作
おおのこうへい／絵
ポプラ社
(91カ)

初めてカップラーメンを食べようと、お湯を入れてタイマーをセットしたユウタ。3分後にできあがるはずだったのに、現れたのは謎のヒーロー「カップ・メン」でした。カップ・メンはユウタの願いを叶えてくれるらしいのですが…それまでカップラーメンは食べられないってこと!?



学校給食のすべてがわかる！
ザ・給食
赤松利恵／監修
岩崎書店
(37)

学校給食の役割は、成長に必要な栄養をバランスよくとり、元気な体をつくることです。地元の特産品を使った料理も積極的にとり入れていて、秋田県では、せりを油揚げなどと蒸し煮した「せり蒸し」が出ることも。給食はどのように作られているの？献立を考えているのは誰？など、給食の疑問に答えます。

高学年以上



わらって、考える！
イグ・ノーベル賞ずかん
古澤輝由／監修
萩原慶／絵
ほるぷ出版
(37)

いたって真面目な研究が、ときに笑いを生み出す！バナナの皮はなぜ滑る？全員目が開いた集合写真を撮るには、何枚撮影が必要？体の大きさは違うのに、ほ乳類がおしっこする時間はだいたい同じ？「イグ・ノーベル賞」を受賞した39の研究や発明を紹介。ユニークな研究内容に笑いながら、科学の面白さに触れられる本。



ワルイコいねが
安東みきえ／著
佐藤野々子／画
講談社
(91ア)

美海が書道教室で一緒になったのは、秋田から転校してきたアキト。人に気をつかう「いい子」の美海と反対に、アキトは無神経な発言や理解しづらい行動で、学校では浮いているらしい。でもそれは自分に正直なだけかも、と美海は思う。アキトが見ず知らずの人の葬式にまぎれ込もうとする理由は？秋田に残してきた思いとは？